



03

奉仕

BASE Is Biblical And Solid Essentials
MINISTRY

Introduction

序論

神の子は、
神の使命を成就するために
神のしもべとなられた。

-John Oswald Sanders

**神のご目的を
成し遂げる
奉仕者とされたい**

AGENDA

01
02
03
04

- 奉仕の意義**
- 奉仕者の資質**
- 奉仕の秩序**
- 奉仕の報い**

Chapter 1

奉仕の意義

Section 1-1

神のご計画の中の 奉仕

私は
神のご計画のすべてを、
余すところなく
あなたがたに知らせたからです。

使徒 20:27

御国を宣べ伝えて
あなたがたの間を
巡回した私

使徒 20:25

また私は、
新しい天と新しい地を見た。
以前の天と以前の地は過ぎ去り、
もはや海もない。
私はまた、聖なる都、
新しいエルサレムが、
夫のために飾られた
花嫁のように整えられて、
神のみもとから、
天から降って来るのを見た。

黙示録 21:1-3

私はまた、
大きな声が御座から出て、
こう言うのを聞いた。
「見よ、
神の幕屋が人々とともににある。
神は人々とともに
住み、人々は神の民となる。
神ご自身が彼らの神として、
ともにおられる。」

黙示録 21:1-3

神のご計画

God's Plan

御国の実現

Realization Of The Kingdom

ソロモン三部作

箴言
Proverbs

伝道者の書
Ecclesiastes

雅歌
Song of Solomon

**神の知恵に
信頼する**

Trust in the wisdom of God

**神の知恵に
信頼する**

Trust in the wisdom of God



**自分の知恵で
判断する**

Judge with your own wisdom

今、知恵と知識を
私に授けてください。

II歴代誌 1:10

箴言

Proverbs

神の知恵によって
どのように生きるか

How to live by God's wisdom

伝道者の書

Ecclesiastes

神の知恵によって
生きるしかない

We can only live by the wisdom of God

雅歌

Song of Solomon

神の知恵と
一つになる望み

Hope to be united with the wisdom of God

**神の知恵に
信頼する**

Trust in the wisdom of God

神のご計画

God's Plan

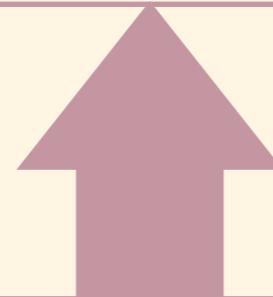
御国の実現

Realization Of The Kingdom

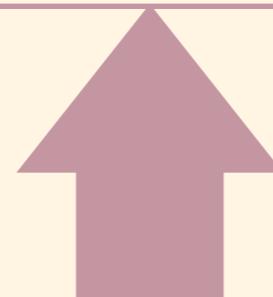
timeline

歴史のゴール

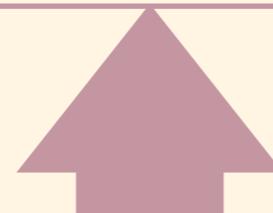
御国の実現



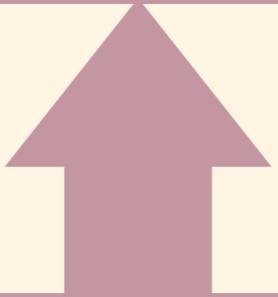
新天新地



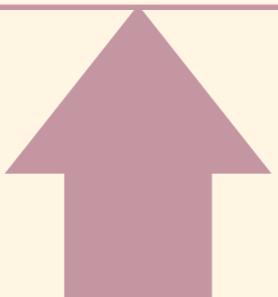
大いなる白い御座のさばき



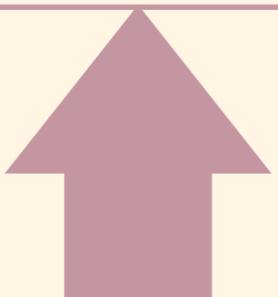
千年王国



患難時代



携挙



兄弟姉妹の成長



教会の完成

Section 1-2

第1章のまとめ

あらゆる奉仕は
世界の完成に
つながっている

Chapter 2

奉仕者の資質

Section 2-1

民数記に見る 奉仕者の資質

創世記

Genesis

失敗した人

Person Who Failed

出エジプト記

Exodus

回復された人

Recovered Person

レビ記

Leviticus

礼拝する人

Worshiper

民数記

Numbers

奉仕する人

Person To Serve

Section 2-2

奉仕の本質

人口調査

1

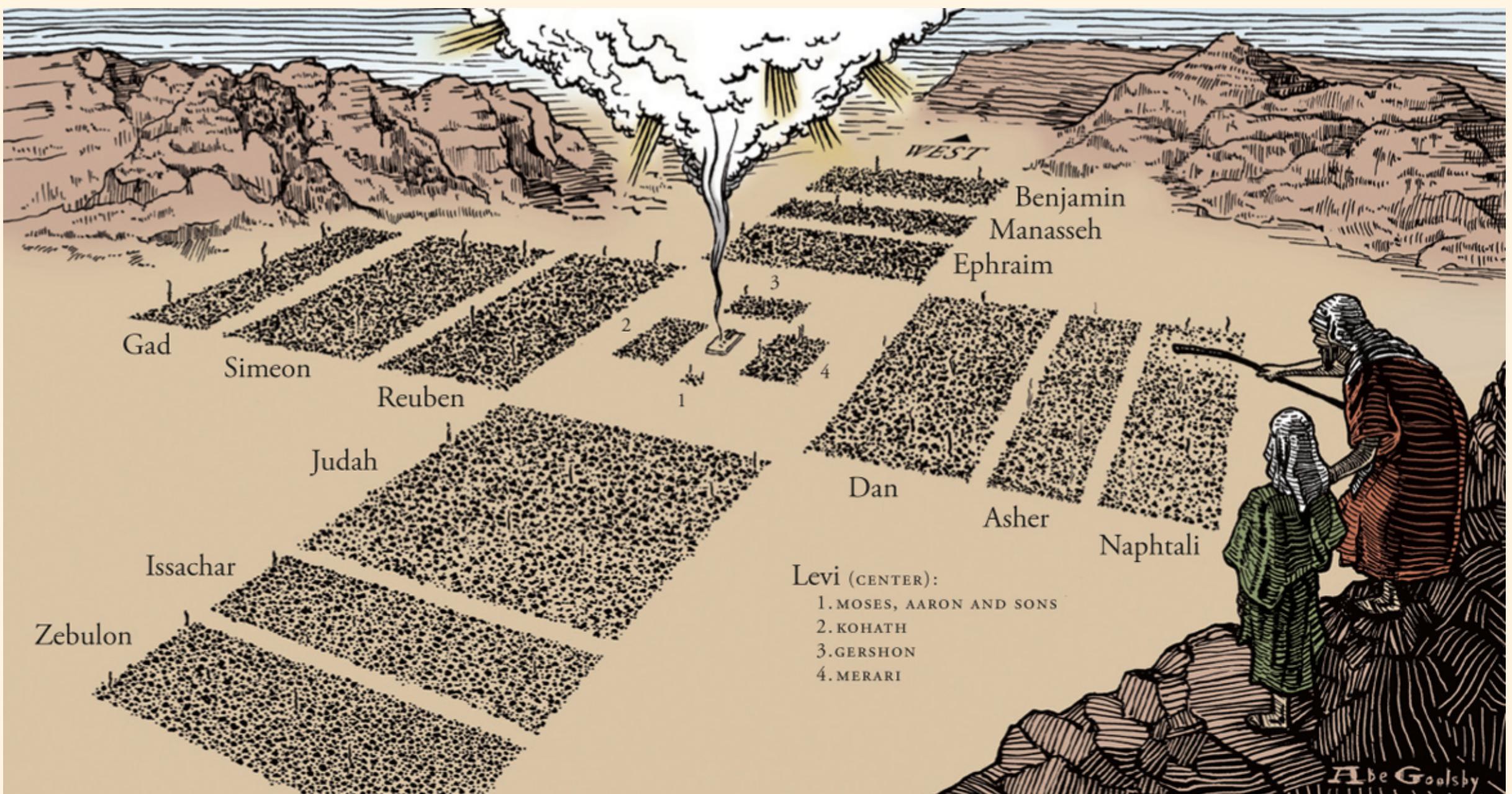
兵士の人数調査

Soldier Number Survey

2

レビ人の人数調査

Survey Of Levite Population



戦う力の中心は
主への礼拝

Worship Of The Lord Is
At The Heart Of The Fight



“

自分の品性を通して、
キリストを存分に現し、
キリストの御名のために
全世界に強烈な影響を
与えた人は、
その人の生涯は
それ以外なかった
と言えるほど、
非常に多くの時間を
神と過ごした人である。
神と過ごす時間が
わずかな人は、
神のためになすことも
わずかである。

-Edward McKendree Bounds

Section 2-3

奉仕に進むために



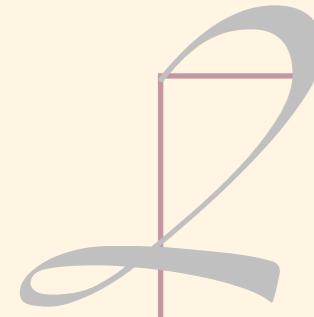
汚れた人の隔離

Dirty People Isolation



神との関係の健全化

Sounder Relationship With God



罪過のための賠償

Compensation For Transgression



同胞との関係の健全化

Sounder Relationship With Fellow Brothers



妻の潔白の証明

Proof Of My Wife's Innocence

家族との関係の健全化

Sounder Relationship With Family

Section 2-4

献身者の心

「イスラエルの子らに告げよ。
男または女が、
主のものとして身を聖別するため
特別な誓いをして、
ナジル人の誓願を立てる場合、

その人は、
ぶどう酒や強い酒を断たなければならぬ。
ぶどう酒の酢や強い酒の酢を
飲んではならない。
また、ぶどう汁をいっさい飲んではならない。
ぶどうの実の生のものも、
干したものも食べてはならない。
ナジル人としての聖別の全期間、
彼はぶどうの木から生じるものは
すべて、種も皮も食べてはならない。



ぶどうを絶つ

Do Not Eat Grapes

聖歌598番

Chant Number 598

“

かつては我 良きものを
求めて主を 忘れたり
賜物より 癒しより
与え主ぞ さらに良き
我がすべての すべてなる
主をば崇めん とこしなえに

-聖歌598番 「かつてはわれ」

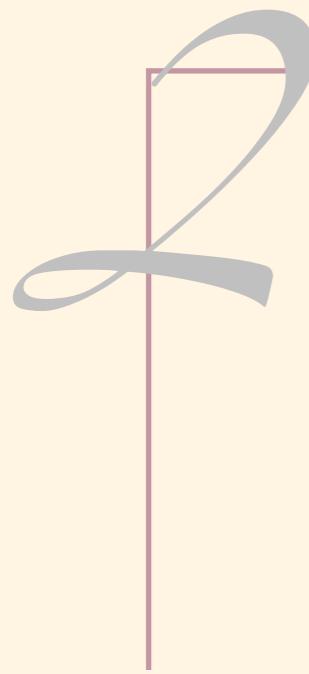


“

以前は祝福、今は主
以前は感情、今はみことば
以前は主の賜物を求めぬ
今は与え主をわがものとす
以前は癒しを求めぬ
今は主だけを求む
すべてにまさりとこしえに
われはイエスを歌わん
すべてはイエスにあり
そして、イエスはすべてなり

-Albert Benjamin Simpson

彼がナジル人としての聖別の誓願を
立てている間は、
頭にかみそりを当ててはならない。
主のものとして
身を聖別している期間が満ちるまで、
彼は聖なるものであり、
頭の髪の毛を
伸ばしておかなければならぬ。



髪の毛を切らない

Do Not Cut The Hair

彼の頭には
神への聖別のしるしが
あるからである。

民数記 6:7

また、
彼（大祭司）の頭に
かぶり物をかぶらせ、
さらに、
そのかぶり物の全面に金の札
すなわち
聖なる記章を付けた。

レビ記 8:9

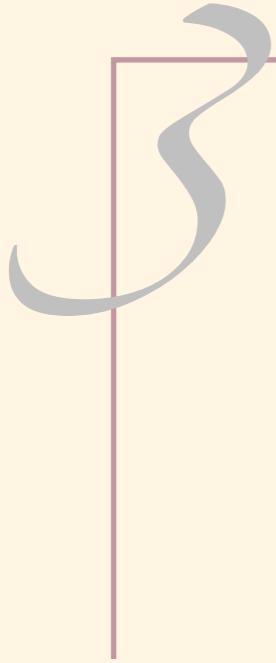
また、
純金の札を作り、
その上に印章を彫るように
『主の聖なるもの』と彫り、
これを青ひもに付け、
それをかぶり物に付ける。
それがかぶり物の
前面にくるようにする。



記章

記章の位置

主のものとして身を聖別している間は、
死人のところに入って行つてはならない。
父、母、兄弟、姉妹が死んだ場合でも、
彼らとの関わりで
身を汚してはならない。



死体から
遠ざかった

Moved Away From The Corpse

兄弟たちのうち大祭司で、
頭に注ぎの油が注がれ、
任職されて装束を着けている者は、
その髪の毛を乱したり、
その装束を引き裂いたりしては
ならない。
いかなる死人のところにも
入って行ってはならない。
自分の父のためにも母のためにも
自分の身を汚してはならない。

レビ記 21:10-11

主のものとして
身を聖別している間は、
死人のところに
入って行ってはならない。

民数記 6:6

Section 2-5

第2章のまとめ

**奉仕する力の
中心は
主への喜び**

**奉仕のためには
関係の健全化が必要**

献身への
自発的な意志が
奉仕には必要

奉仕者は
祝福よりも
与え主を喜ぶ

奉仕者は
神との交わりを
喜ぶ

奉仕者は
神との親しさを
喜ぶ

Chapter 3

奉仕の秩序

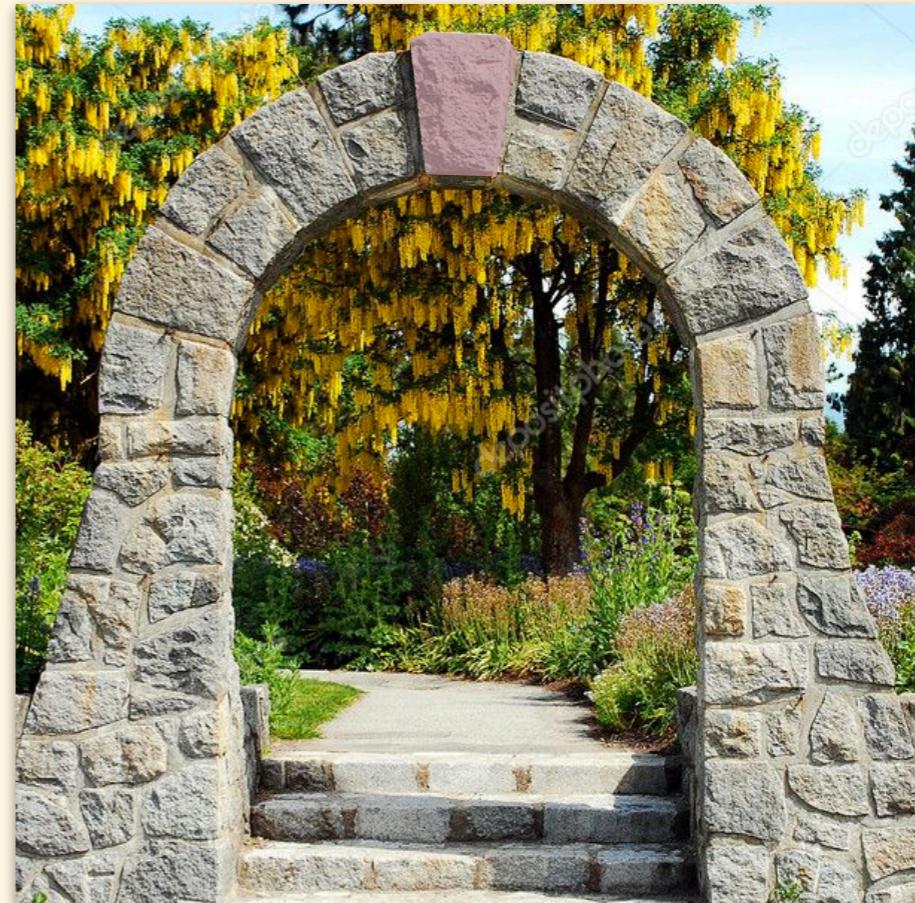
Section 3-1

集会成長の要

使徒たちや預言者たちという
土台の上に建てられていて、
キリスト・イエスご自身が
その要の石です。
このキリストにあって、
建物の全体が組み合わされて成長し、
主にある聖なる宮となります。
あなたがたも、
このキリストにあって、
ともに築き上げられ、
御靈によって神の御住まいと
なるのです。



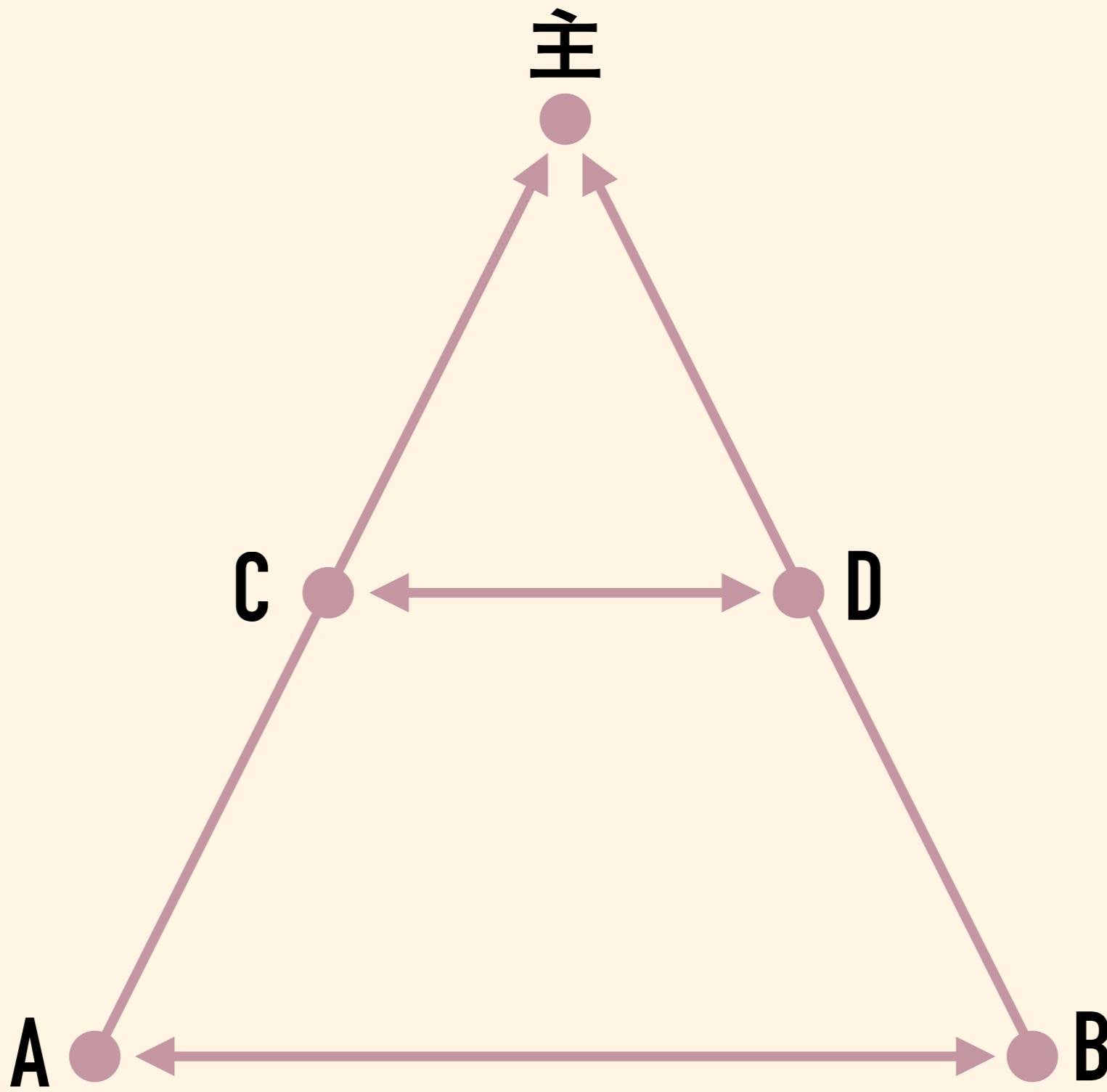
隅の石



かしら石

私たちはみな、
神の御子に対する
信仰と知識において
一つとなり、
一人の成熟した大人となって、
キリストの満ち満ちた
身丈にまで達するのです。

主にある群れの一致



集会成長の要は
主にあって
行動する意識

The Essence Of The Assembly Growth
Is To Act In The Lord

Section 3-2

集会成長の土台

使徒たちや預言者たちという
土台の上に建てられていて、

集会成長の土台は
みことば

The Foundation Of The Assembly Growth

Section 3-3

集会成長のための 役割

こうして、
キリストご自身が、
ある人たちを使徒、
ある人たちを預言者、
ある人たちを伝道者、
ある人たちを牧師、
また教師として
お立てになりました。
それは、聖徒たちを整えて
奉仕の働きをさせ、
キリストのからだを
建て上げるためです。

ある人たちを使徒、
ある人たちを預言者、
ある人たちを伝道者、
ある人たちを牧師、
また教師として
お立てになりました。

私（パウロ）が植えて、
アポロが水を注ぎました。
しかし、成長させたのは神です。

Section 3-4

**奉仕は「皆の益」
を考えて**

さて、賜物はいろいろありますが、
与える方は同じ御靈です。
奉仕はいろいろありますが、
仕える相手は同じ主です。
働きはいろいろありますが、
同じ神がすべての人の中で、
すべての働きをなさいます。
皆の益となるために、
一人ひとりに御靈の現れが
与えられているのです。

たとえ私が人の異言や
御使いの異言で話しても、
愛がなければ、
騒がしいどらや、
うるさいシンバルと同じです。
たとえ私が
預言の賜物を持ち、
あらゆる奥義とあらゆる知識に
通じていても、
たとえ山を動かすほどの
完全な信仰を持っていても、
愛がないなら、
私は無に等しいのです。

1コリント 13:1-3

たとえ私が持っている物の
すべてを分け与えても、
たとえ私のからだを
引き渡して誇ることになっても、
愛がなければ、
何の役にも立ちません。

愛は人を育てます。

1コリント 8:1

ただ、
すべてのことを適切に、
秩序正しく行いなさい。

1コリント 14:40

愛の指摘で
あっても適切に
秩序正しく

Even If Pointed Out By Love,
Properly And Orderly

Section 3-5

奉仕とは

主にあって

In The Lord

みことばに
基づき

Based On Scripture

2つの分野の 表れを求めて

In Search Of The Manifestations
Of The Two Fields

皆の益と
なるために

To Benefit Everyone

Section 3-6

第3章のまとめ

奉仕者は
主に結びつく
必要がある

奉仕者は
みことばの土台を
築く必要がある

植える働きと
水を注ぐ働きの
連携が
集会成長に必要

集会全体の
益となる視点の
奉仕が
集会成長に必要

Chapter 4

奉仕の報い

Section 4-1

奉仕の決算

私たちはみな、
善であれ悪であれ、
それぞれ肉体においてした
行いに応じて
報いを受けるために、
キリストのさばきの座の前に
現れなければならないのです。

キリストの さばきの座

Judgment Of Christ

Section 4-2

奉仕の評価基準

天の御国は、
旅に出るにあたり、
自分のしもべたちを呼んで
財産を預ける人のようです。
彼はそれぞれその能力に応じて、
一人には五タラント、
一人には二タラント、
もう一人には一タラントを渡して
旅に出かけた。

マタイ 25:14-19

するとすぐに、
五タラント預かった者は出ていって、
それで商売をし、
ほかに五タラントをもうけた。
同じように、
二タラント預かった者も
ほかに二タラントをもうけた。
一方、一タラント預かった者は
出て行って地面に穴を掘り、
主人の金を隠した。

さて、かなり時がたってから、
しもべたちの主人が帰ってきて
彼らと清算をした。

マタイ 25:14-19

任された責任は
人それぞれ

Responsibilities Are Each Person

すると、
五タラント預かった者が進み出て、
もう五タラントを差し出して言った。

(中略)

主人は彼に言った。

『よくやった。

良い忠実なしもべだ。
おまえはわずかな物に
忠実だったから、
多くの物を任せよう。
主人の喜びを
ともに喜んでくれ。』

マタイ 25:20-23

二タラントの者も進み出て言った。

(中略)

主人は彼に言った。

『よくやった。

良い忠実なしもべだ。

おまえはわずかな物に

忠実だったから、

多くの物を任せよう。

主人の喜びを

ともに喜んでくれ。』

忠実

Faithful

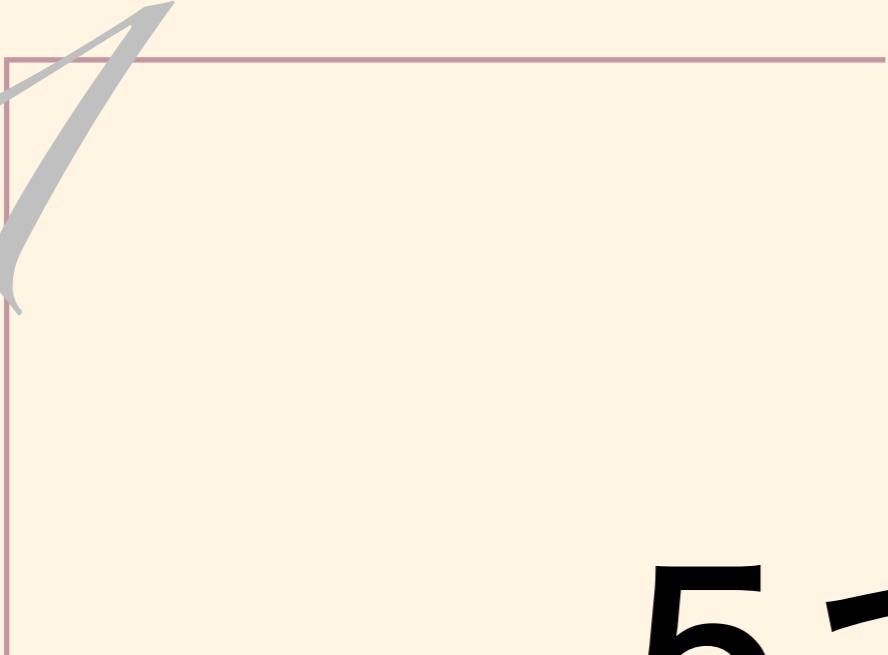
一タラント預かった者も
進み出て言った。
『ご主人様。
あなた様は蒔かなかつた
ところからかき集める、
厳しい方だと分かっていました。』

主との関係が
忠実さに
影響する

Relationship With The Lord Affects Fidelity

Section 4-3

**報いは永遠の姿に
影響する**



5つの冠

Five Crowns



ディアデーマ
(王冠)



ステファノス
(栄冠)

5つの冠

- 1 朽ちない冠
- 2 喜びの冠
- 3 義の冠
- 4 いのちの冠
- 5 栄光の冠

競技をする人は、
あらゆることについて節制します。
彼らは朽ちる冠を受けるために
そうするのですが、
私たちは朽ちない冠を
受けるためにそうするのです。

目標を定めて
自制した人

A Person Who Set Goals
And Restrained Themselves

ですから、
私は目標がはっきりしないような
走り方はしません。
空を打つような拳闘もしません。

5つの冠

- 1 朽ちない冠
- 2 喜びの冠
- 3 義の冠
- 4 いのちの冠
- 5 栄光の冠

私たちの主イエスが
再び来られるとき、
御前で私たちの望み、
喜び、誇りの冠と
なるのは、
いったいだれでしょうか。
あなたがたでは
ありませんか。

伝道と 弟子訓練をした人

A Person Who
Has Done Evangelism And Discipleship

5つの冠

- 1 朽ちない冠
- 2 喜びの冠
- 3 義の冠
- 4 いのちの冠
- 5 栄光の冠

あとは、
義の栄冠が私のために
用意されているだけです。
その日には、
正しいさばき主である主が、
それを私に授けてくださいます。
私だけでなく、
主の現れを慕い求めている人には、
だれにでも授けてくださるのです。

携挙を 待ち望んでいる人

A Person Who
Are Waiting For The Rapture

キリストにこの望みを
置いている者はみな、
キリストが
清い方であるように、
自分を清くします。

あなたがたはわたしが
空腹であったときに食べ物を与え、
渴いていたときに飲ませ、
旅人であったときに宿を貸し、
わたしが裸のときに服を着せ、
病気をしたときに見舞い、
牢にいたときに訪ねてくれたからです。』
すると、
その正しい人たちは答えます。

マタイ 25:35-40

『主よ。いつ私たちは
あなたが空腹なのを見て食べさせ、
渴いているのを見て飲ませて
差し上げたでしょうか。
いつ、旅人であるのを見て宿を貸し、
裸なのを見て
着せて差し上げたでしょうか。
いつ私たちは、あなたが病気をしたり
牢におられたりするのを見て、
お訪ねしたでしょうか。』
すると、
王は彼らに答えます。

『まことに、
あなたがたに言います。
あなたがたが、
これらのわたしの兄弟たち、
それも最も小さい者たちの一人に
したことは、
わたしにしたのです。』

マタイ 25:35-40

すると、
王は彼らに答えます。
『まことに、
おまえたちに言う。
おまえたちがこの最も小さい者たちの
一人にしなかったのは、
わたしにしなかったのだ。』

5つの冠

- 1 朽ちない冠
- 2 喜びの冠
- 3 義の冠
- 4 いのちの冠
- 5 栄光の冠

試練に耐える人は幸いです。
耐え抜いた人は、
神を愛する者たちに約束された、
いのちの冠を受けるからです。

ヤコブ 1:12

試練を通して
主を学んだ人

A Person Who
Have Learned The Lord Through Trials

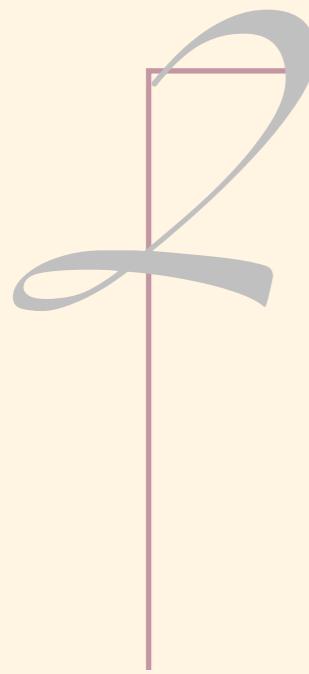
5つの冠

- 1 朽ちない冠
- 2 喜びの冠
- 3 義の冠
- 4 いのちの冠
- 5 栄光の冠

割り当てられている人たちを
支配するのではなく、
むしろ群れの模範となりなさい。
そうすれば、
大牧者が現れるときに、
あなたがたは、
しほむことのない
栄光の冠をいただくことになります。

牧者の働きを した人

A Person Who Worked As A Shepherd

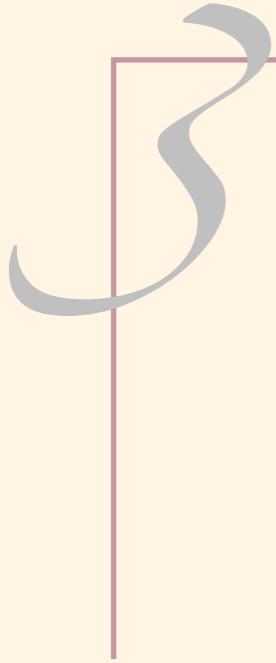


永遠の世界での 仕事

Work In The Eternal World

彼らは世々限りなく
王として治める。

黙示録 22:5



輝くきよい亜麻布

Shining Bright Linen Cloth

花嫁は、
輝くきよい亜麻布を
まとうことが許された。
その亜麻布とは、
聖徒たちの正しい行いである。

黙示録 19:8



“

私たちは日を追うごとに、
永遠のホームで
やがて受ける報いと、
喜び楽しむ度合いを
自ら決定しつつあるのです。
その決定の要因には、
聖書をどれだけ知っているか、
また、それに従順であるか、
祈りの生活はどうか、
神の民との交わりはどうか、
主への奉仕はどうか、



“

神がゆだねてくださった
すべてのものを忠実に
管理しているか、
ということが
含まれることでしょう。

-William Macdonald

Section 4-4

奉仕者の特権

これはナジル人についてのおしえである。
ナジル人としての聖別の期間が満ちたときは、
彼を会見の天幕の入り口に連れて行く。
彼は次のささげ物を主に献げる。
すなわち、全焼のささげ物
(中略)
罪のきよめのささげ物
(中略)
交わりのいけにえ
(中略)
さらに穀物のささげ物

穀物のささげ物

Grain Offering

人として完全に
自分をささげられた主

The Lord Who Completely Offered Himself As A Human

交わりのいけにえ

Peace Offering

神と人の間に交わりの
喜びをもたらす主

The Lord Brings Joy Of Relationship
Between God And Man

罪のきよめのささげ物

Sin Offering

人の罪をきよめるために
自分をささげられた主

The Lord Who Has Given Himself
To Cleanse Man From Sin

全焼のささげ物

Burnt Offering

自分の全てを
ささげられた主

The Lord Who Gave All Of Himself

Section 4-5

第4章のまとめ

奉仕が
評価される時が
来る

**奉仕の
評価基準は
主の価値観**

**奉仕には
報いがある**

**奉仕することで
学ぶ主がある**

Whole Summary

全体まとめ

Summary Of Introduction

序論のまとめ

神のご目的に
沿った
奉仕者でありたい

Chapter 1 Summary

第1章 奉仕の意義 のまとめ

**奉仕には
壮大な意義がある**

Chapter 2 Summary

第2章 奉仕者の資質 のまとめ

**奉仕者の資質は
主を喜ぶ
人であること**

Chapter 3 Summary

第3章 奉仕の秩序 のまとめ

集会成長に
つながる奉仕かを
吟味する
必要がある

Chapter 4 Summary

第4章 奉仕の報い のまとめ

**奉仕は
永遠の姿に
影響する**

EOF

- 参考資料

- ルイス・スペリー・シェイファー『聖書の主要教理』聖書図書刊行会、1985年
高木慶太・芦田拓也『これからの世界情勢と聖書の預言』いのちのことば社、2002年
R・A・ファーレル『集会の真理と行動』伝道出版社、1975年
ウィリアム・マクドナルド『この日を主とともに』ゴスペルフォリオプレスジャパン、2014年
ウィリアム・マクドナルド『新約聖書注解2』伝道出版社、2006年
ヘンリー・W・ソルト『幕屋～祭司と捧げ物～』牧草社、2004年

- 改版履歴

-
- 2015年4月 初版
2016年3月 改版
2016年8月 改版
2018年5月 改版
2019年9月 改版
2019年11月 改版
2019年12月 改版
2020年1月 改版
2020年2月 改版
2020年3月 改版
2020年4月 改版
2020年9月 改版
-